

## 潮流

この夏はいろいろな写真展があり楽しみです。まずは、世界的な動物写真家、岩合光昭氏の軌跡を紹介する「岩合光昭写真展―地球の

輝く生命(いのち)たち―」が九月二日まで、倉吉博物館で開催されています。厳しい大自然の中に、それぞれの動物の生き生きとした姿が写し出されているようです。そのワンショットを撮るために、大自然に身を任せ、シャッターチャンスをとって何時間も何日も待っている岩合氏の姿が思い起こされます。同じように、人間の子どもの生き生きとした姿に出会うためには、じっと待つ大人の姿勢も大切ではないかと思えます。山陰初の開催で、世界のいろいろな動物に出会えるだけでなく、命のいとおいしさや命への畏敬(いけい)の念、家族のふれあいを思い起こせるのではないかと期待しています。

また、植田正治写真美術館では、俳優でミュージシャンの福山雅治さんと四人の写真家による写真展「PHOTO STAGE I―I―出逢いの記憶―」が九月二十四日まで開催されます。福山さん初の写真集「f5・6のハロー 1/125のサヨナラ」を中心とした作品群と、四人の写真家による「被写体、福山雅治」、五人の尊敬する写真家、故・植田正治さんの作品約二百七十点が展示されます。福山さんのラジオの話を聞いているととても気さくな感じで、近親感を抱きますが、おどけた中にもしっかりと考えた考えや豊かな感性を感じます。繊細な音楽性とともに、イケメンもあいまって私の周りにも多くファンがいらっしゃいます。日本の古い空気が残っている山陰のファンだという多才な彼の目から見た世界の写真も楽しみです。

写真展ではありませんが、米子市美術館では、八月二十六日まで「ねむの木のことまたちとまり子美術展」が開催されています。女優の宮城まり子さんが立ち上げられた日本初の肢体不自由児療護施設

## 写真展

## 松田 隆

NPO法人未来副理事長、鳥取県中部医師会副会長

設「ねむの木学園」の生徒五十四人による作品は、自由でのびのびと豊かな感性で描かれていることを創造するだけで、ファンタジーなやさしい世界に浸れそうです。いろいろな作品と出合っ、また新しいパワーを充電して、この夏を乗り切りたいと思います。

もう一つ、倉吉市のたからや内にある「おたからギャラリー未来」で、赤ちゃんとその親と小中高生とのかかわり体験「赤ちゃんとふれあい会」の様子が展示されています。ふれあい会の講師をされた鳥取大学医学部の高塚人志准教授が撮影された写真展です。これらの写真には、赤ちゃんとふれあっている子どもたちの輝いた瞳が映し出されています。そこにはまさに「生きる力」が脈々と息づいています。このいきいきとした子どもたちの瞳の輝きを見ていると、日本の未来も捨てたものではないなあと思えます。と同時に、この子どもたちに希望のもてる社会を残すわれわれ大人の責任を感じていきます。

2011.8.7



じます。参議院選も終わり、未来ある子どもへの視点に立った政策が進むことを願っています。この赤ちゃんとふれあい体験の写真展は、パールタウンや湯梨浜町公民館でも開催される予定です。ぜひ、子どもたちの瞳の輝きを感じていきます。

そして、赤ちゃんとふれあい体験の実践発表と高塚先生の間関係づくりの研修会、顔の血管腫のタッチ先生として知られている藤井輝明鳥取大学医学部教授の講演などが企画された「鳥取発心のふれあいプロジェクト全国集会」が、九月二十二日午前九時半から湯梨浜町中央公民館で、参加費無料で開催されます。子どもたちの未来に大切なものを考えてみませんか？

問い合わせ先は電話0858(22)9791、NPO法人未来事務局(心のふれあいプロジェクト)へ。

(倉吉市)